

## 第9回日本小児耳鼻咽喉科学会議事録 理事会

日時：平成26年6月5日(木) 午後3時～4時

場所：アクトシティ浜松・研修交流センター 4階 402会議室

出席者：(50音順, 敬称略)

氷見(理事長), 荒川, 宇佐美, 小林, 坂田, 阪本, 鈴鹿, 鈴木, 西崎, 春名, 増田, 峯田, 守本(理事), 大越, 佐野(監事), 市村, 川城, 田中(顧問), 有本, 香山, 新鍋, 高橋, 深美(幹事)

### (1) 氷見理事長挨拶

議事録署名人に宇佐美理事と阪本理事が指名された。

本理事会は出席者と委任状で定足数を満たしていることが報告された。

本大会開催にあたって挨拶が述べられた。今年は役員改選の年にあたり、新しい体制で発足することになると話された。

### (2) 峯田周幸会長挨拶

峯田周幸第9回会長より、協力・支援に対する謝意が述べられた。

### (3) 平成25年度事業報告(庶務：守本理事)

[平成25年5月1日-平成26年4月30日]

- 1) 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年6月20日-21日の2日間、前橋において群馬大学小児科 荒川浩一会長のもとで開催した。
- 2) 第11回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成27年に徳島大学耳鼻咽喉科 武田憲昭会長のもとで開催することが決定した。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第34巻2号, 3号, および第35巻1号を刊行した。
- 4) 小児慢性特定疾患にかかる研究班会議に出席し、気道狭窄医療意見書案の作成に協力した。
- 5) 理事会および評議員会を平成25年6月19日に開催した。
- 6) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。
- 7) 小児期外科系関連学会協議会に出席した。
- 8) 急性中耳炎ガイドラインの改訂、滲出性中耳炎ガイドラインの作成に委員として協力した。
- 9) 学会ホームページを新規改訂した。

10) 選挙管理委員をおき、理事および監事の選出を行った。

11) 小児耳鼻咽喉科学会 会員数：平成26年5月27日現在  
名誉会員2名

正会員1098名(前年度 正会員1039名)

団体会員10名

購読会員5名

寄贈会員4名

田中顧問より耳鼻科と小児科の割合について質問されたが、住所、勤務先などが把握できていないことから比率は不明であると、守本理事から返答された。

氷見理事長より昨年从小児科の認定学会から認定が取り消されたことが報告され、小児科医の参加を促すようにしていきたいと述べられた。

(4) 平成25年度決算報告(会計：小林理事)

小林会計担当理事より、決算報告、資産の説明があった。

(5) 会計監査報告(監事：大越、佐野監事)

平成26年5月22日に小宮山印刷において監査が行われ、適正であったことが報告された。

以上決算が承認された。

(6) 平成26年度事業計画(案)(庶務：守本理事)

(平成26年5月1日-平成27年4月30日)

1) 第9回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成26年6月6日-7日の2日間、浜松医科

大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 峯田周幸会長のもとに開催する。

2) 第10回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成27年に信州大学耳鼻咽喉科 宇佐美

真一会長のもとに開催に向け準備する。会期は平成27年5月8日-9日、会場は軽井沢軽井沢プリンスホテルWestである。

3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第35巻2号、3号、および第36巻1号を刊行する。

4) 理事会および評議員会を平成26年6月5日に開催する。

5) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席する。

6) ホームページの充実をはかる。

7) 小児慢性特定疾患の見直しに協力する。

8) 小児期外科系学会関連の協議会に出席する。

9) 急性中耳炎ガイドラインの改訂、滲出性中耳炎ガイドラインの作成に委員として協力する。守本理事から小児慢性特定疾患の見直しについて述べられた。小児気管切開術において気管狭窄という診断名がついている場合のみ小児慢性特定疾患として登録することができ、医療費が軽減されている。現在、声門下狭窄や声帯麻痺は入っていないため、本学会から咽頭狭窄、喉頭狭窄、気管狭窄を合わせて気道狭窄として小児慢性特定疾患として算定されるように提案しているとのことである。

#### (7) 平成26年度予算(案)(会計：小林理事)

平成26年度予算案について報告があり承認された。

市村顧問からJ-stageが予備費であるが、予算に組み込んではいかがかと提案された。鈴木理事からPDF化に5-6万円程度の経費が必要であることが述べられ、氷見理事長からは会費発行費の電子化という名称とすることが提案された。小林理事から諸経費として5-6万円で計上したいと述べられた。

#### (8) 各種委員会報告

##### 1) 学会誌編集委員会報告 (委員長：鈴木理事)

会誌34巻3号、35巻1号および2号を発刊したこと、J-Stage上にも公開したことが報告された。

##### 2) ホームページ委員会 (委員長：坂田理事)

新規業者により学会ホームページの全面リニューアルを行い、スマートフォンで閲覧できる

ようになったこと、電子ジャーナル化されたこと、今後会員番号の検索ができるようにし

ていくことが報告された。

##### 3) 用語委員会 特になし。

##### 4) 保険医療委員会 特になし。

##### 5) 会則改定委員会 特になし。

##### 6) アドホック委員会

法人組織移行委員会は新体制でも継続していくことが氷見理事長より報告された。

専門医制度委員会と人工内耳委員会に関しては、一旦終了し、新体制では新たな動きがあったときに再度立ち上げることが氷見理事長より報告された。

氷見理事長より2009年に本学会から診療指針を出版したが、5年経過するので改訂版を出版したらどうかとの提案があった。

(9) 役員改選（深美選挙管理委員長）

新理事18名、新監事2名と定数通りの立候補があったので、選挙は行わないことになったことが報告された。

(10) 評議員の辞退

東邦大学の太越俊夫先生、東京医科歯科大学の岸本誠司先生、千葉大学の河野陽一先生、仙塩利府病院の小林俊光先生、奈良県立医科大学の細井裕司先生、自治医科大学の前田貢作先生、東京大学の竹内正人先生が評議員を辞退・退任されたことが承認された。

(11) 評議員の推薦

東北大学の香取幸夫先生、東邦大学の鈴木光也先生、帝京大学の安井拓也先生が評議員に推薦され、承認された。

(12) 年次幹事の推薦

信州大学の工 讓先生が推薦され、承認された。

(13) 第12回総会・学術講演会の会長選出の件

氷見理事長より、獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科の春名眞一教授が推薦され、認められた。

(14) 第10回総会・学術講演会 宇佐美真一会長ご挨拶

来年5月8日-9日に軽井沢で予定しており、大勢の参加を期待していると述べられた。

(15) 協議事項、その他

1) 坂田理事より、先天性サイトメガロウイルス感染症のアンケートを小児病院に送るので協力してほしいと依頼があった。

2) 守本理事より、先週ESPOに参加してきたことが報告され、次回のESPOの案内があった。

3) 田中顧問より風疹が脚光を浴びているが本学会でも話題に取り入れた方がよいのではと述べられた。

4) 西崎理事より会則改定委員会の字が間違えているので、直しておいてほしいと依頼があった。ホームページ内の会則には番号が振っていないので冊子体と同じようにした方がよいのではとの提案があった。

庶務担当：守本倫子

幹事：有本友季子

深美 悟

新鍋 晶浩

(文責) 香山智佳子

## 第9回日本小児耳鼻咽喉科学会議事録 評議員会

日時：平成26年6月5日(木) 午後4時～5時30分

場所：アクトシティ浜松・研修交流センター6階 62研修交流室

出席者：(50音順, 敬称略)

氷見(理事長), 荒川, 宇佐美, 小林, 坂田, 阪本, 鈴鹿, 鈴木, 西崎, 春名, 増田, 峯田, 守本(理事), 大越, 佐野(監事), 市村, 川城, 田中(顧問), 愛場, 安達, 飯野, 井口, 伊藤(真), 小川, 小河原, 奥中, 工藤, 笹村, 佐藤, 竹内(万), 武田, 千田(い), 内藤, 仲野, 西村, 二藤, 林, 兵頭, 益田, 松谷, 三輪, 望月(高), 余田(評議員), 有本, 香山, 新鍋, 高橋, 深美(幹事)

### (1) 飯野理事長挨拶

議事録署名人に竹内評議員と千田いづみ評議員が指名された。

本大会開催にあたっての挨拶が述べられた。

### (2) 峯田周幸会長挨拶

峯田周幸第9回会長より, 協力・支援に対する謝意が述べられた。

### (3) 平成25年度事業報告(庶務: 守本理事)

[平成25年5月1日-平成26年4月30日]

- 1) 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年6月20日-21日の2日間、前橋において群馬大学小児科 荒川浩一会長のもとで開催した。
- 2) 第11回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成27年に徳島大学耳鼻咽喉科 武田憲昭会長のもとで開催することが決定した。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第34巻2号, 3号, および第35巻1号を刊行した。
- 4) 小児慢性特定疾患にかかる研究班会議に出席し, 気道狭窄医療意見書案の作成に協力した。
- 5) 理事会および評議員会を平成25年6月19日に開催した。
- 6) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。
- 7) 小児期外科系関連学会協議会に出席した。
- 8) 急性中耳炎ガイドラインの改訂, 滲出性中耳炎ガイドラインの作成に委員として協力した。
- 9) 学会ホームページを新規改訂した。

10) 選挙管理委員をおき、理事および監事の選出を行った。

11) 小児耳鼻咽喉科学会 会員数：平成26年5月27日現在  
名誉会員2名

正会員1098名(前年度 正会員1039名)

団体会員10名

購読会員5名

寄贈会員4名

(4) 平成25年度決算報告(会計：小林理事)

小林会計担当理事より、決算報告、資産の説明があった。

(5) 会計監査報告(監事：大越、佐野監事)

平成26年5月22日に小宮山印刷において監査が行われ、適正であったことが報告された。

以上決算が承認された。

(6) 平成26年度事業計画(案)(庶務：守本理事)

(平成26年5月1日-平成27年4月30日)

1) 第9回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成26年6月6日-7日の2日間、  
浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 峯田周幸会長のもとに開催する。

2) 第10回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成27年に信州大学耳鼻咽喉科  
宇佐美真一会長のもとに開催に向け準備する。会期は平成27年5月8日-9日、会場は  
軽井沢 軽井沢プリリンスホテルWestである。

3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第35巻2号、3号、および第36巻1号を刊行する。

4) 理事会および評議員会を平成26年6月5日に開催する。

5) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席する。

6) ホームページの充実をはかる。

7) 小児慢性特定疾患の見直しに協力する。

8) 小児期外科系学会関連の協議会に出席する。

9) 急性中耳炎ガイドラインの改訂、滲出性中耳炎ガイドラインの作成に委員として  
協力する。

(7) 平成26年度予算(案)(会計：小林理事)

平成26年度予算案について報告があり承認された。

## (8) 各種委員会報告

### 1) 学会誌編集委員会報告（委員長：鈴木理事）

会誌34巻3号、35巻1号および2号を発刊したこと、J-Stage上にも公開したことが報告された。

### 2) ホームページ委員会（委員長：坂田理事）

新規業者により学会ホームページの全面リニューアルを行ったことが報告された。

### 3) 用語委員会 特になし。

### 4) 保険医療委員会 特になし。

### 5) 会則改定委員会 特になし。

### 6) アドホック委員会

法人組織移行委員会は新体制でも継続していくことが氷見理事長より報告された。

専門医制度委員会と人工内耳委員会に関しては、一旦終了し、新体制で新たに検討していくよう氷見理事長より依頼があった。

## (9) 役員改選（深美選挙管理委員長）

新理事18名、新監事2名と定数通りの立候補であったので、選挙は行わないことになったことが報告された。

## (10) 評議員の辞退

東邦大学の太越俊夫先生、東京医科歯科大学の岸本誠司先生、千葉大学の河野陽一先生、仙塩利府病院の小林俊光先生、奈良県立医科大学の細井裕司先生、自治医科大学の前田貢作先生、東京大学の竹内正人先生が評議員を辞退・退任されたことが承認された。

## (11) 評議員の推薦

東北大学の香取幸夫先生、東邦大学の鈴木光也先生、帝京大学の安井拓也先生が評議員に推薦され、承認された。

## (12) 年次幹事の推薦

信州大学の工 譲先生が推薦され、承認された。

## (13) その他

1) 守本理事より、先週ESPOに参加してきたことが報告され、次回のESPOの案内があった。

- 2) 坂田理事より、先天性サイトメガロウィルス感染症のアンケートを小児病院に送るので協力してほしいと依頼があった。
- 3) 田中顧問より、風疹が脚光を浴びているが本学会でも話題に取り入れた方がよいのではと述べられた。
- 4) 氷見理事長より2009年に本学会から診療指針を出版したが、5年経過するので改訂版を出版したらどうかとの提案があった。

(14) 第12回総会・学術講演会の会長選出の件

氷見理事長より、獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科の春名眞一教授が推薦され承認された。

(15) 第10回総会・学術講演会 宇佐美真一会長ご挨拶

来年5月8日-9日に軽井沢で予定しており、大勢の参加を期待していると述べられた。

(16) 第11回総会・学術講演会武田憲昭会長ご挨拶

再来年6月16日-17日に徳島で予定しているが、ESPOの日程との関係で変更も検討したいと述べられた。

(17) その他

市村顧問より、現理事長の氷見教授が次期監事になるが、会計監査のみならず事業内容についても目を光らせてもらいたいと提案があった。

理事長：氷見徹夫

庶務担当：守本倫子

幹事：有本友季子

深美 悟

新鍋 晶浩

(文責) 香山智佳子